



感染症対策の基礎知識 1

<https://l-hospitalier.github.io>

1. β ラクタマーゼ (メタロ β ラクタマーゼ、ESBL、lowBLNAR)
2. O-157:腸管出血性大腸菌 (グラム陰性菌、陽性菌、内毒素、ベロトキシン)
3. 細胞免疫とクオンティフェロン (T細胞、MHC)
4. 溶血性連鎖球菌 (GAS, GBS)
5. 非病原性、時々病原性の常在菌
6. 真正細菌、古細菌、真核生物、PCR
7. プリオン (糖蛋白)、ウイルス (DNA & RNA)、インフルエンザ
8. ノロ (ノーウォーク)・ウイルス、小型球形ウイルス (SRSV)、ヘルペス
9. 予防接種 (良好な免疫応答の誘導、インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン)
10. 抗菌薬投与方法の基礎
11. 黄色ブドウ球菌と耐性菌 (CNS, HA-MRSA, CA-MRSA)
12. 多剤耐性菌 (MDRP, レジオネラ)
13. 結核、非結核 (非定型) 抗酸菌症
14. 予防接種 (良好な免疫応答の誘導) その2 BCG, MMR
15. ヒト・エーテル・ア・ゴーゴー関連遺伝子(hERG)異常、QT 延長症候群
16. AVNRT, orthodromic、antidromic AVRT
17. AIDS(Acquired Immune Deficiency Syndrome) 1
18. AIDS 2 (RT (逆転写、リアルタイム) - PCR)
19. AIDS 3 検査法 (p24 抗原、ウエスタン・ブロット法)
20. TORCH シリーズ & MERS (Middle East Respiratory Syndrome)
21. 疥癬
22. 遺伝子レベルの感染制御 (プラスミドとファージ)
23. パンデミックの歴史 (天然痘、ペスト etc.)
24. カリウムの点滴 (K^+ 投与の3原則)
25. 新規抗生剤 (第5世代セファロsporin、etc.)
26. 多臓器性人獣共通感染症(Zoonosis) 1 エボラ他
27. 多臓器性人獣共通感染症(Zoonosis) 2 狂犬病他
28. RS ウイルス、パルボ、コクサッキー
29. MMR (麻疹、耳下腺炎、風疹)
30. 小さな真正細菌 (原核生物)、マイコプラズマ、クラミドフィラ (クラミジア)
31. 真菌 (PAMPs、カンジダ、アスペルギルス)
32. DIC (播種性血管内凝固症候群) 1
33. DIC (播種性血管内凝固症候群) 2
34. DIC (播種性血管内凝固症候群) 3
35. 滅菌と消毒
36. 確率と統計: 検定における非対称性について



感染症対策の基礎知識 2

<https://l-hospitalier.github.io>

37. 放射線（ベクレル、グレイ、シーベルト）
38. ウイルス、その他簡易検査法
39. カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）と細菌感受性試験
40. DR（超薬剤抵抗性）結核菌と抗生物質の標的部位
41. 細菌培養－細菌同定
42. 結核菌、抗酸菌培養－菌種同定
43. 薬剤耐性と VRE（バンコマイシン耐性腸球菌）
44. 本来多剤耐性の親水性グラム陰性菌
45. グラム陽性菌と感染症法で全数に指定された病原体
46. 炎症と白血球、CRP
47. 無顆粒球症（アグラ）、血算
48. 迅速検査、インフルとノロ（Norwalk virus）
49. 迅速検査 その2、ベイズ確率論
50. Zika 熱、デング熱、チクングニア熱（トガウイルス）
51. ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP, PISP）とワクチン（溶連菌 revisited）
52. 血液ガス分析と酸塩基平衡（1）
53. 血液ガス分析と酸塩基平衡（2）pH, Astrup, pCO₂
54. 血液ガス分析と酸塩基平衡（3）電解質との関係
55. PCR、TMA と結核菌の遺伝子診断
56. 結核菌の遺伝子診断 2
57. ADEM : acute disseminated encephalo-myelitis（急性散在性脳脊髄膜炎）
58. 血漿浸透圧と補液の浸透圧計算（橋中心部髄鞘崩壊症の防止）
59. 脂肪代謝と必須脂肪酸（1）脳と心臓のエネルギー代謝と脂肪
60. 脂肪代謝と必須脂肪酸（2）プロスタグランジンと COX, COX-2 阻害剤
61. 真正細菌の免疫系 CRISPR/CAS と RNA 干渉（クリスパーの遺伝子編集能力）
62. コリスチン（ポリミキシン E）耐性菌 MCR-1 遺伝子
63. うっ血性心不全と利尿剤（1）
64. うっ血性心不全と利尿剤（2）
65. 腸チフス、パラチフス、発疹チフス（3 類）
66. コレラ（2007 年より 3 類）
67. ペスト（1 類、Plague 英、Pest 独）①
68. ペスト（1 類、Plague 英、Pest 独）②
69. 炭疽病（Anthrax、4 類）
70. 鳥インフルエンザ
71. 梅毒検査
72. 筋小胞体、細胞膜（T 管）の Ca²⁺チャネルと悪性症候群①



感染症対策の基礎知識 3

<https://l-hospitalier.github.io>

73. 筋小胞体、細胞膜 (T 管) の Ca^{2+} チャンネルと悪性症候群②
74. 抗癲癇薬①
75. 抗癲癇薬②
76. 脳神経科学
77. 感染症の非特異検査 (プロカルシトニン)
78. 肝炎とワクチン
79. ヘルペスウイルス (Epstein-Barr virus、サイトメガロウイルス)
80. ワーファリン惹起性皮膚壊死とヘパリン誘起性血小板減少症
81. 代替・補完医療とトンデモ
82. 薬用石鹼の禁止
83. ピロリ菌感染症
84. 日本国内専用薬
85. 赤痢と偽膜性大腸炎 (Clostridium difficile)
86. 感染予防対策の成立
87. 感染の成立
88. 体内埋め込み電子機器の処理
89. 感染症法
90. アウトブレイク
91. パスツールと狂犬病ワクチン
92. ウイルス、レトロウイルス、ファージ
93. グラム陰性菌とエンドトキシン
94. 非病原性菌 (時々病原性) 2 多剤耐性アシネトバクター
95. 非病原性菌 (時々病原性) 3 ヘモフィルス・インフルエンザ
96. 抗菌薬-1 (β ラクタム環とアミノグリコシド)
97. 抗菌薬-2 (殺菌的/静菌的抗生剤)
98. 抗菌薬-3 (β ラクタム環耐性)
99. 抗菌薬-4 (グリコペプチドに対する耐性)
100. 抗菌薬-5 (緑膿菌類、バークホルデリア、ステノトロホモナス)
101. 抗真菌薬
102. パピローマ、ポリオーマ (JC ウイルス、BK ウイルス)
103. 抗ウイルス薬-1
104. 抗ウイルス薬-2
105. 抗真菌薬
106. インスリンとスライディング・スケール
107. プリオン病 ①
108. プリオン病 ②



感染症対策の基礎知識 4

<https://l-hospitalier.github.io>

109. クロストリジウム・デフィシル菌
110. 強心剤と心筋酸素消費量
111. 強心剤 (2)
112. 血圧 (1)
113. 血圧 (2)
114. モノクローナル抗体薬
115. 慢性炎症と鉄代謝 (ヘプシジン 25)
116. 鉄代謝と貯蔵鉄 (フェリチン)
117. 輸血、不規則抗体
118. 胃瘻.
119. 抗血小板、抗凝固療法 (ワーファリン)
120. クロピドグレルと PPI、そして DAPT
121. 凝固カスケードとトロンビンバースト
122. プロトロンビン時間 (PT) と活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)
123. 偽性高 K 血症
124. 間接法による偽性低 Na 血症と血清浸透圧
125. アニオンギャップとアシドーシス
126. 新抗インフル薬、ゾフルーザ (キャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害剤)
127. 黄色ブドウ球菌のスーパー抗原 TSS-1 とサイトカイン・ストーム
128. レンサ球菌性毒素性ショック症候群 (人食いバクテリア)
129. 抗菌薬耐性菌 (Anti Microbial Resistance) ①
130. 抗菌薬耐性菌 (Anti Microbial Resistance) ②
131. 抗菌薬耐性菌 (Anti Microbial Resistance) ③
132. 新抗生物質シデロフォア・セファロスポリン
133. レビー小体病と薬物性パーキンソニズム、そして花粉症薬
134. パーキンソン／レビー小体病とベンズアミド系向精神薬
135. 経皮吸収型薬剤 (貼付薬、ニトロダーム、ビソノテープ)
136. IGRA (クオンティフェロン、T-SPOT) と STAP 細胞
137. 死亡診断書
138. 麻疹、はしか、measles(rubeola)
139. ビスホスホネート (BP) と顎骨壊死 (BRONJ / ARONJ)
140. 血清抗体 (antibody) と BCR
141. 細胞免疫と結核菌
142. リンパ球とリンパ系
143. 流体力学 (1) パルシング・フラッシュ
144. 流体力学 (2) 層流・乱流・レイノルズ数



感染症対策の基礎知識 5

<https://l-hospitalier.github.io>

145. 流体力学（3）一酸化窒素（NO）とナビエ・ストークス方程式
146. 糖尿病性ケトアシドーシス（Diabetic Keto-Acidosis, DKA）
147. 糖代謝とケトン体
148. 糖質、ブドウ糖、果糖、乳糖
149. ブドウ糖の細胞への取り込み、糖尿病と不老長寿薬。
150. 高浸透圧高血糖症候群と乳酸アシドーシス
151. 前立腺癌の臨床検査
152. エンテロウイルス、手足口病、ヘルパンギーナ
153. ヘパロックとヘパリン起因性血小板減少症 HIT
154. アルボウイルスと犬、猫、人獣共通感染症
155. マダニとペット（犬、猫）関連感染症
156. 抗凝固療法と PT-INR、APTT
157. アスピリン・ジレンマとアセトアミノフェン AA
158. アルコール耐性と硝酸薬
159. 赤痢、腸管出血性大腸炎
160. 蛋白分子と分子モーター
161. 蛋白分子と筋収縮機構（1）
162. 蛋白分子と筋収縮機構（2）
163. 蛋白分子の分析法、ELISA や固相クロマトグラフィー
164. mRNA の CAP 構造と新インフル薬ゾフルーザ
165. 新インフルエンザ薬ゾフルーザ
166. 神経膠芽種（glioblastoma）とグリオマトースス
167. 新結核薬デラマニドとベダキリン
168. ネットワークの感染対策と VPN
169. ネットワークの管理コマンド
170. ネットワーク空間（サイバー空間）
171. ルータの機能と設定
172. ABO 血液型亜型（1） ー糖鎖抗原（H 抗原と）ボンベイ型ー
173. ABO 血液型亜型（2） ーcis AB 型と A2B3 型ー
174. 高齢者の低 Na⁺血症
175. なぜインフルエンザワクチンは感染を予防しないか
176. Live Attenuated Influenza Vaccine フルミスト
177. ヒスタミンと抗ヒスタミン薬
178. ブラディキニン、カリクレイン、レニン、アンジオテンシン
179. セロトニン（5-HT）
180. サイトカイン、補体、CRP



<https://l-hospitalier.github.io>

181. 補体受容体と自己免疫病
182. Toll 様受容体 (TLR) と自然免疫
183. 免疫におけるアポトーシス (1)
184. 免疫におけるアポトーシス (2)
185. 水痘－帯状疱疹
186. 経管栄養 (1) －栄養剤－
187. 経管栄養 (2) －下痢－
188. 経管栄養と高 K 血症
189. 血液凝固、線溶系、抗血栓療法
190. D ダイマー、FDP、血栓溶解
191. ヘパリン、各種抗凝固製剤と DIC
192. 採血時の補液成分の混入
193. MMR ワクチン薬害事件
194. 酸素吸入療法① －オキシマスク、ベンチュリマスク－
195. 酸素吸入療法② －CO₂ ナルコーシスの診断－
196. 酸素吸入療法③ －CO₂ ナルコーシスの治療？－
197. 酸素吸入療法④ －人工呼吸器列伝－
198. 血小板の粘着と凝集 －フィブロンectin とインテグリン－
199. 抗血小板薬と抗凝固薬
200. 敗血症と敗血症性ショック －血漿乳酸レベル測定の意義－
201. Surviving Sepsis Campaign 2016
202. 低 Na 血症とバブタン系利尿剤
203. 再吸収阻害型利尿剤
204. キノロン系抗生剤とサルファ剤
205. プロカルシトニン (PCT) と CRP
206. プレセプシン (PSEP) とプロカルシトニン (PCT)
207. 水頭症：脳室／腰椎クモ膜下腔 －腹腔シャント
208. ウイルスの不活性化と酸性アルコール消毒剤
209. インフルエンザウイルス (1)
210. インフルエンザウイルス (2)
211. 急性膵炎診療の変遷 (1)
212. 急性膵炎診療の変遷 (2)
213. NT-proBNP、BNP (ネシリチド)、ANP (カルペリチド)
214. 塩素イオンと酸-塩基の定義の変遷 (ルイス酸)
215. (微) 生物の進化 (バージェス動物群) －無駄話－
216. ベロ毒素 (志賀毒素) と CD トキシン A, B



- 217. 心不全の臨床は静脈側が最重要
- 218. ヘリカーゼ、プライマーゼ、岡崎フラグメント
- 219. HIV 予防薬と新規 HIV 治療薬
- 220. 超高齢糖尿病の血糖コントロール
- 221. 成人 T 細胞白血病 (ATL)
- 222. D グルコース、グリコーゲン
- 223. 蛋白の高次構造とシャペロン、シャペロニン
- 224. ユビキチン・プロテアソーム系とオートファジー
- 225. 細胞間シグナル伝達とサイトカイン (1)
- 226. 細胞間シグナル伝達とサイトカイン (2)
- 227. 細胞間シグナル伝達とサイトカイン (3)
- 228. 細胞間シグナル伝達とサイトカイン (4)
- 229. 細胞間シグナル伝達とサイトカイン (5)
- 230. SARS (1) とサイトカインストーム
- 231. SARS (2) 極東の SARS と MERS
- 232. SARS (3) SARS-Co-V2 (2019)の診断と治療
- 233. 客観確率 (頻度主義) と主観確率 (ベイズ主義)、モンティ・ホール問題
- 234. 頻度主義の最尤推定法とベイズ推定法
- 235. 超高齢者重症低血糖
- 236. 転写後 RNA の遺伝子制御 (RNA 編集)
- 237. DNA と RNA の違い
- 238. 遺伝子発見の歴史 (その光と影)
- 239. 活性酸素とスーパーオキシドジスムターゼ
- 240. 電子伝達鎖と ATP 合成酵素 (ユビキノン、シトクロム c)
- 241. ミトコンドリア異常と MELAS
- 242. 細胞極性と細胞骨格
- 243. CoVID19 と RT-PCR 偽陰性
- 244. CoVID19 と SARS-CoV-2 の疫学
- 245. CoVID19 とレムデジビル
- 246. プロトンポンプインヒビター (PPI)
- 247. サリドマイド・FDA・グラハムレポート
- 248. 頭の良くなる薬
- 249. イコサノイドとアラキドン酸カスケード
- 250. ホルムアルデヒド、ホルマリン、メチルアルコール
- 251. 蚊、ダニなど吸血動物が媒介する伝染病-①
- 252. 蚊、ダニなど吸血動物が媒介する伝染病-②



<https://l-hospitalier.github.io>

- 253. 人工心肺と人工弁
- 254. 除細動
- 255. 破傷風 (Tetanus) とボツリヌス中毒
- 256. グルタミン酸受容体 (AMPA / NMDA 型) と神経疾患
- 257. GABA 受容体 バルビタールとベンゾジアゼピン
- 258. ドパミンの薬理学 (1) ドパミンの合成。代謝
- 259. ドパミンの薬理学 (2) カテコラミン作動性受容体
- 260. ドパミンの薬理学 (3) パーキンソン病
- 261. セロトニン (5-hydroxytryptamine)
- 262. セロトニン症候群と 5-HT アゴニスト／アンタゴニスト
- 263. 骨粗鬆症 (1) ー破骨細胞と骨芽細胞ー
- 264. 骨粗鬆症 (2) ー副甲状腺ホルモン、Vitamin D、フォスファトニーンー
- 265. 骨粗鬆症 (3) ー骨粗鬆症の薬物治療ー
- 266. 抗菌薬 (1) ー治療指数 (Therapeutic Index) ー
- 267. 抗菌薬 (2) ー サルファ剤の生物種選択性 ー
- 268. 抗菌薬 (3) ー グラム陰性菌の抗菌剤 ー
- 269. 抗菌薬 (4) ー 新規の抗菌薬 ー
- 270. 抗菌薬 (5) ー グラム染色と抗生剤 ー
- 271. 抗菌薬 (6) ー チール・ネールゼン染色と抗酸菌 ー
- 272. 抗真菌薬 (1) ー 抗真菌薬の標的 ー
- 273. 抗真菌薬 (2) ー 新しい抗真菌薬 ー
- 274. 抗ウイルス薬 (1) ー 天然痘とヘルペス ー
- 275. 抗ウイルス薬 (2) ー 抗ウイルス薬の分類 ー
- 276. 抗ウイルス薬 (3) ー アビガン、インターフェロン ー
- 277. ワクチン全能論とワクチン陰謀論
- 278. シアン中毒の治療 (シアノキット)
- 279. 統計と確率 (1)
- 280. 統計と確率 (2)
- 281. 統計と確率 (3)
- 282. 急性リンパ腫
- 283. 単球・マクロファージ・樹状細胞
- 284. 変異ウイルス株による抗原原罪説
- 285. 粘膜関連リンパ組織 (MALT) と免疫
- 286. 抗原変異と免疫回避、インターフェロン